

令和 2 年 3 月 3 1 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 日本共産党
代表者名 仲田 孝行

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 2 年 3 月 2 4 日（火） から 令和 2 年 3 月 2 5 日（水） まで

2 活動場所

- ①岩手県陸前高田市
- ②釜石市

3 参加者

仲田孝行、川口清之
（他 新志会 2 名、無所属 1 名）

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 日本共産党

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	東日本大震災発災後9年を経て、被災地の復興状況を確認し、その復興計画を成し遂げるためにどう行動したのかを学び、また、どのようにして自らの命を守るために行動したかを知ることにより、本市の防災体制やソフト面の充実を図る市政構築の一助となれるよう、調査研究を行うものである。
活動概要	<ul style="list-style-type: none">●実施日 令和2年3月24日(火)～令和2年3月25日(水) ●場所 (1)陸前高田市 (2)釜石市 ●内容 (1)視察のテーマ 3・11東日本大震災被災地の諸施設について (2)視察のテーマ 水産業の復興状況について
活動成果	<ul style="list-style-type: none">●所感等 高田松原津波復興祈念公園内に設置されている道の駅で昼食を摂ったが、レストランはほぼ満席で、復興後の賑わいづくりに大きく貢献していると感じた。道の駅に隣接した「いわてTUNAMIメモリアル(津波伝承館)」を案内されたが、度々津波被害にあってきた同地域の歴史や今回の津波の概要とその威力、これらから命をすくうための教訓を学んでいく重要な施設と感じた。案内担当者の、「津波てんでんこ」は自分だけ助かるということではなく、自分の家族も近所の人と一緒に救助されているという確信が持てるような信頼感を日ごろから家族や地域で醸成していくことと説明され感銘した。 陸前高田市長の戸羽 太氏と20分ほど面談したが、印象的だったことは、どの党派とも等距離の立場で、多様性を重視しているということだった。立ち枯れた奇跡の一本松のレプリカをつくり同一場所に復元することに、当初は費用が1億数千万円かかることから反対した議員もいたが、今では多くの人に希望を与えるものとなっていると語った。 水産業の現状把握のため、広田湾漁協の牡蠣養殖業者「吉田水産」を訪問した。同漁協では牡蠣の成長を促すとして、牡蠣に付着したムール貝の稚貝や「ほや」のタネを除去するため洋上で65～70℃の熱水に数分間浸す作業をしているとのこと。このことにより他の漁協では見られない大きな牡蠣が水揚げされ、東京市場でも高い評価を得ており、震災前の生産量を回復しているとのこと。また同社では、水揚げした牡蠣を紫外線で殺菌した塩水に2日間浸漬する作業を加え、安心・安全な商品出荷をしていることも学んだ。 釜石市で大きな被災地の一つの鶴住居地区の復興状況を見た。残念ながら「いのちをつなぐ未来館」は休館日のため見学できなかったが、ラグビースタジアムや市民体育館の設備、鶴住居小学校の高台移転を確認できた。

視 察 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和2年3月24日 (火)	10:00	滝沢市役所集合
	10:00～12:00	滝沢市役所⇒陸前高田市（レンタカー・自家用車）
		【昼食】
	13:00～15:00	津波伝承館視察
	15:30～16:00	市長訪問（陸前高田市役所）
	17:30	【宿泊】 「大船渡温泉」 （大船渡市大船渡町丸森 29-1）
令和2年3月25日 (水)	8:00	宿出発
	8:30～10:00	広田湾漁協視察
	10:00～11:30	陸前高田市内復興状況視察
	11:30～13:30	陸前高田市⇒釜石市 【昼食休憩含む】
	13:30～14:30	釜石市鶴住居復興スタジアム視察
	14:30～16:30	釜石市⇒滝沢市役所（レンタカー・自家用車）